

# 「社会科」 授業のデザイン

授業者：西本 仰

- 1 日 時 平成30年6月5日（火）5校時
- 2 学 級 3年2組
- 3 題 材（単元） 独立の回復と55年体制
- 4 本時の授業

(1) 目標

- ・ 占領政策の転換を、東アジアの動きと関連づけながら理解させる。
- ・ サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約締結の意義を、当時の世論を意識しながら考える。

(2) 授業の取り組み

- ・ GHQが行った戦後改革の柱である「非軍事化」「民主化」が「経済の発展」へと大きく転換した理由を、当時の東アジアの情勢とからめて考えさせたい。
- ・ 日本が「西側陣営」の国として独立を回復し再出発していく過程を、2つの条約締結と関連づけながら考えさせたい。

(3) 流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
<p>①本時の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">日本が独立を回復した過程を当時の世界情勢を背景に考えよう</div> <p>②基礎の課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 資料集 P214①を参考にしながら、「あれっ」と思う占領政策の転換について話し合ってみる。</li><li>・ 政策転換の背景にあった世界情勢について考える。</li></ul> <p>③ジャンプの課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ サンフランシスコ平和条約が、一部の国との平和条約であったことや、日米安全保障条約の内容をふまえて、日本がどのような立場で国際社会に復帰していったかを考える。</li></ul> <p>④まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主体的に話し合いに参加することができたか、具体的に考えを深めることができたか、振り返る。</li></ul>	<p>指導上の留意点等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 労働運動の制限や、軍国主義者の公職復帰、レッドバージなど、民主化優先だった占領政策が反動化している点をおさえる。</li><li>・ 冷戦下における東アジア情勢が影響していることをおさえる。</li><li>・ 平和条約に不参加だった国を挙げ、それがどのような国かを確認する。</li><li>・ 当時の国民の世論を紹介する。</li></ul>

